



■ 曲目
ベートーヴェン
交響曲第九番
[合唱]

指揮：藤岡幸夫
管弦楽：日本フィルハーモニー交響楽団
合唱：「がん患者さんが歌う第九」合唱団



小林 沙羅 (ソプラノ) 石田 滉 (メゾソプラノ) 錦織 健 (テノール) 宮本 益光 (バリトン)

日時 2024年 6月30日(日) 13時15分開場
14時開演
東京オペラシティ コンサートホール(東京・初台)

チケット料金 10,000円(税込) [全席指定]

■ 2024年2月6日(火)10時より発売
お申込み
お問合せ 日本フィル・サービスセンター TEL 03-5378-5911 [平日10時~17時]
WEBSITE <https://eticket.japanphil.or.jp> [席を選んでお申込みできます]

□ チケットぴあ <https://pia.jp/t/japanphil> Pコード: 261-092 □ e+【イープラス】 <https://eplus.jp/>
□ 東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999 [火~日曜日 10時~18時 ※2/11除く] メモをご用意の上お電話ください

※原則として公演中止の場合を除き、チケット代金の払い戻しはございません。あらかじめご了承ください
※未就学児の入場はご遠慮ください。※出演者 曲目等は変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターまでお問い合わせください。
※車いすでご来場予定のお客様は、当日のスムーズなご案内のため、チケットご購入後ご購入席番を日本フィル・サービスセンターまでご連絡ください。

「がん患者さんが歌う第九」チャリティーコンサート 特設サイト <https://www.jfcr.or.jp/charity/>

がん患者さんが
歌う第九
Beethoven: Symphony No.9

チャリティー
コンサート
2024



特別企画 Special
「がん」を語りましょう
笠井 信輔
(フリーアナウンサー)



日本フィル・サービスセンター

Charity Concert

■ ご挨拶

長い長いコロナ禍のトンネルを抜けて、ようやく「がん患者さんが歌う第九」チャリティーコンサートを開催できる日がやってきました。2017年、2019年に続く3度目の開催で、多くの皆様から「まだか」の声をいただいていた。がん患者さん、ご家族、そしてがん診療に携わる医療者や支援者が集い、練習を重ね、歓喜の歌を歌いあげる感動を、多くの皆様と共有することを目指します。このチャリティーコンサートの収益は、「がん克服をもって人類の福祉に貢献する」というがん研究会のミッション実現のために、大切に活用させていただきます。どうぞご理解、ご協力、そして暖かいご声援をお願いいたします。



がん研有明病院 病院長 佐野 武



©Shin Yamagishi

【指揮】 藤岡 幸夫

日本指揮者界の重鎮であった渡邊暁雄最後の愛弟子。サーゲオルグ・ショルティのアシスタントを務める。英国王室ノーザン音大指揮科卒業。最も才能あるEU加盟国の若手指揮者に贈られる「サー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞」を特例で受賞。1994年ロンドン「プロムス」にBBCフィルを指揮してデビュー以降、数多くの海外オーケストラに客演。首席指揮者を務める関西フィルとは2024年が25年目のシーズン、2019年からは東京シティ・フィル首席客演指揮者を兼任。指揮・公会として関西フィルと共に出演中のBSテレ東「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜朝8:30)は2023年10月で10年目に突入、放送500回に迫る人気番組。2002年渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。

■ 公式ファンサイト: <http://www.fujikyo-sachio.com/>

【管弦楽】 日本フィルハーモニー交響楽団

1956年6月に故渡邊暁雄を中心に創立。「オーケストラ・コンサート」「リージナル・アクティビティ」「エデュケーション・プログラム」という三つの柱で活動を行っている。首席指揮者カーチン・ウォン、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、桂冠名誉指揮者小林研一郎、フレンド・オブ・IPO (芸術顧問) 広上淳一という充実した指揮者陣を中心に演奏会を行い、「音楽を通して文化を発信」している。東日本大震災の被災地に音楽を届ける「被災地に音楽を」を2011年4月より開始、2022年8月末には315回を超えており、その活動が高い評価を受け、第16回後藤新平賞を受賞。毎週水曜日22時54分～23時、BS朝日「Welcomeクラシック」出演中。



©NIPPON COLUMBIA

【ソプラノ】 小林 沙羅

東京藝術大学及び同大学院修了。2010～15年ウィーンとローマにて研鑽を積む。12年ブルガリア国立歌劇場『ジャンニ・スキッキ』で欧州デビュー。15年及び20年野田秀樹演出『フィガロの結婚』、17年藤原歌劇団『カルメン』、19年『ドン・ジョヴァンニ』、21年『夕鶴』、21年『千姫』、23年井上道義『降福からの道』、兵庫県立芸術文化センター『ドン・ジョヴァンニ』と話題作に続々出演。また、マラー交響曲第4番、フォーレ『レクイエム』等のソロとして多くのオーケストラと共演。19年サードアルバム『日本の詩(うた)』をリリース。17年第27回出光音楽賞、19年第20回ホテルオークラ賞受賞。日本声楽アカデミー会員。藤原歌劇団団員。大阪芸術大学准教授



©Taira Tairadate

【メゾソプラノ】 石田 滉

東京藝術大学卒業、同大学院修了。大学院アカンサス音楽賞を受賞。藝大オペラ『フィガロの結婚』ケルビーノ役デビュー後、『ロシアン・ファン・トゥッテ』ドラベッラ役、『エトワール』ラズリ役等を演じる。コンサートではベートーヴェン『第九』、モーツァルト『レクイエム』、『短調ミサ曲』、シューベルト『ミサ曲第五番』、ロッシニ『スターバト・マテル』、マラー『大地の歌』等ソロを多数務める。第25回日本クラシック音楽コンクール最上位。第2回新進音楽家コンクール第1位。平成30年ちばソリストオーディション最優秀賞。第90回日本音楽コンクール第3位。第41回ハンズガボア・ベルヴェデーレ国際コンクール日本代表。日本声楽アカデミー会員。



©大八木宏 (都恋堂)

【テノール】 錦織 健

国立音楽大学卒業。文化庁オペラ研修所第5期修了。文化庁在外研修員としてミラノに、また五島記念文化財団の留学生としてウィーンに留学。第17回ジロー・オペラ賞新人賞、第4回グローバル東敦子賞、第1回五島記念文化賞新人賞、第6回モービル音楽賞洋楽部門奨励賞受賞。1986年『メリー・ウィドウ』カミーユ役でデビュー以後、数多くのオペラ公演に出演、また第九や宗教曲等のソロとしても高く評価を受けている。2002年からはオペラ・プロデュースも始め、2015年には第6弾モーツァルト作曲『後宮からの逃走』も手がけた。NHK紅白歌合戦への出演や、2012年より6年間NHK-FM「DJクラシック」のパーソナリティーを務めるなど、幅広く活動している。



【バリトン】 宮本 益光

東京藝術大学卒業、同大学院博士課程修了。学術(音楽)博士号取得。2003年A.プレヴィン『欲望という名の電車』スタンリーで一躍注目を集め、以降、二期会『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、日生劇場『メデア』イヤソン、神奈川県民ホール『魔笛』パパゲーノ等話題の公演に数多く出演。15年神奈川県民ホールおよび19年二期会『金閣寺』では溝口にて主演、高い評価を得た。また演奏のみならず、作詞、訳詞、訳詞、執筆、執筆、演出等でも多彩に活躍。著作に『職業 宮本益光』、歌曲集『私の歌』等がある。MOZART SINGERS JAPANを主宰。05年テレビ愛媛賞25、09年よんでん芸術文化奨励賞受賞。桐朋学園大学准教授、聖徳大学客員准教授、東京藝術大学講師。二期会会員

■ オフィシャルサイト: <https://www.masumitsu-official.com/>



撮影:河内 彩

【特別企画】 笠井 信輔

東京都世田谷区生まれ。1987年 早稲田大学を卒業後、フジテレビのアナウンサーに。朝の情報番組「とくダネ」を20年間担当後、2019年9月に33年間勤めたフジテレビを退社し、フリーアナウンサーとなる。しかし、2か月後に血液のがんである悪性リンパ腫と判明。4か月半の入院、治療の結果「完全寛解」となる。現在、テレビ、ラジオ、講演だけでなく、がん知識の普及など医療関連にも活動の幅を広げている。

【主催】 公益財団法人がん研究会

1908年に日本初のがん専門機関として発足。2018年に創立110周年を迎えた。創立以来「がん克服をもって人類の福祉に貢献する」という理念を掲げ、日本のがん研究と医療における主導的役割を果たしてきた。特に当会の特徴である診療と研究の現場が一体である環境の中、真の意味での一人ひとりの患者さんに適した医療を提供している。

チャリティーコンサート特設サイト

□ コンサート詳細は、こちらをご覧ください

<https://www.jfcr.or.jp/charity/>

活動に賛同された皆さまからの寄付をお待ちしております

